

内外国旅費精算及び外国出張予約システムの改良

発 注 仕 様 書

I. 一般仕様

O1_件名

「内外国旅費精算及び外国出張予約システムの改良」

O2_目的および概要

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構（以下、「原子力機構」という。）人材開発部では、事務の効率化を目的に、内外国旅費精算及び外国出張予約システム（以下、「Concur」という。）を運用している。

今般、内外国旅費精算及び外国出張予約システムの運用結果に基づき、機能の見直しや更なる操作性の向上及び作業の効率化を図ることを目的に、システムの改良作業を実施する。

本仕様書は、上記システム改良作業に係る内容について定めたものである。

O3_作業範囲

（１） 内外国旅費精算及び外国出張予約システムの改良作業

O4_契約納期

令和 8 年 3 月 31 日（火）

O5_納入場所および作業実施場所

原子力機構 本部 総管理棟 2F 人材開発部居室

（茨城県那珂郡東海村大字舟石川 765 番地 1）

原子力機構 原子力科学研究所 情報交流棟南ウイング B1F 第 2 計算機室

（茨城県那珂郡東海村大字白方 2 番地 4）

O6_納入物件

（１） 打合せ議事録	1 部
（２） Concur 要件定義書 ※1	1 部
（３） Concur パラメータ定義書 ※1	1 部
（４） データ連携ブリッジプログラム要件定義書 ※1	1 部
（５） ブリッジプログラムインフラパラメータ定義書 ※1	1 部
（６） ブリッジプログラム基本設計書兼詳細設計書 ※1	1 部
（７） 動作テスト仕様書兼結果報告書	1 部
（８） 上記（１）から（７）を記録した CD-R 電子媒体 ※2	1 部

※1 既存提出資料の最終版から変更がある場合のみ提出する

※2 提出書類については、原則として紙媒体または CD-R 等の電子媒体で提出するものとするが、Web 等のネット媒体で代わるサービスがある場合は、機構担当者の許可を得てそれらを紙媒体相当として使用できることとする。

07_提出図書

- | | |
|----------------------|-----|
| (1) 作業工程表（契約締結後速やかに） | 1 部 |
| (2) 作業体制表（契約締結後速やかに） | 1 部 |

08_検収条件

「06_納入物件」および「07_提出図書」に定める提出書類の確認、機器およびシステムの正常な稼働の確認をもって検収とする。

09_貸与品

本作業に関する設計・開発作業等は受注者側の環境で行うこととし、原子力機構内で行う動作テスト等作業時に使用するパソコン・サーバ機器等の利用は無償で貸与するものとする。

なお、受注者側で行う設計・開発作業等に関して必要となるソフトウェアがある場合、それらのライセンスは受注者側で用意するものとする。

10_守秘義務

受注者は、本仕様書に定める作業で知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。

11_検査員及び監督員

検査員	一般検査	管財担当課長
監督員	人材開発部	主幹

12_グリーン購入法の推進

- (1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品が発生する場合はそれを使用すること。
- (2) 本仕様書に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

13_特記事項

- (1) 受注者は、原子力機構担当者と十分に協議したうえで作業を実施すること。
- (2) 本仕様書に記載されている事項および記載されていない事項について疑義が生じた場合は、原子力機構と受注者において協議のうえ議事録等で確認するとともに、その決定に受注者は従うものとする。

Ⅱ. 技術仕様

13-1_Concur の改良作業

(1) 作業内容

別添「内外国旅費精算及び外国出張予約システムの改良項目一覧」のとおり、既存システムの改良作業を行い、正常に動作するよう設定作業を行うこと。

動作確認作業は、原則として機構の用意する検証環境（Windows PC）で実施すること。

13-2_その他

- (1) 稼働中の旅費管理システム（Concur）を停止すること無くリリースを行うこと。
- (2) 作業の際は原子力機構のセキュリティポリシーに従うこと。
- (3) 既存システムの機能・仕様等を十分に把握・理解のうえ設定を行うこと。作業完了後、本システム全体が問題なく稼動することを確認すること。

以上

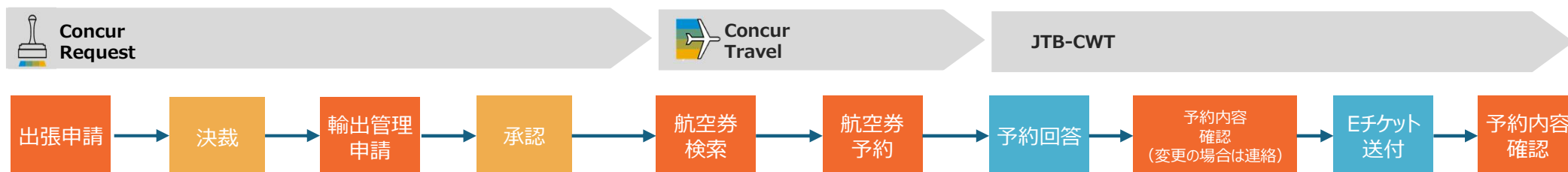
内外国旅費精算及び外国出張予約システムの改良項目一覧

入力	選択	選択	選択	入力	入力
No	フェーズ	システム	分類	タイトル	課題/問題点 内容
余白（追加はこの下に挿入）					
167	稼働後支援	中間連携	ToDo	FBファイル名の変更について	※課題No.103より派生 概要：出力されたFBファイル名に「振込日」を付与する 現在：JTB_銀行伝送_01本部.txt 改修後：JTB_銀行伝送_01本部_20250428.txt
168	稼働後支援	中間連携	ToDo	予算ファイル名の変更と出力内容の変更について	※課題No.104より派生 概要：出力された予算ファイル名に「種別」を付与する 現在：2024_01_20241031.xlsx → 2024_ALL_20241031.xlsx 改修後：JTB_2024_ALL_20241031.xlsx、COR_2024_ALL_20241031.xlsx、個振_2024_ALL_20241031.xlsx 出力内容の変更については別シート「課題No.168 イメージ」を参照
169	稼働後支援	中間連携	ToDo	個人立替の金額サマリについて	個人での立替金額をそのまま仕訳作成しているが、申請者が別途カードにて私的利用されているのであれば、個人立替の金額から私的利用分を引く。 イメージ：カード(私的利用)で使用了マイナスを個人立替から引く。
170	稼働後支援	インプリ	ToDo	外国出張申請手配フローについて	申請と予約手配を同時並行で出来るようにする。（詳細は別紙参照）

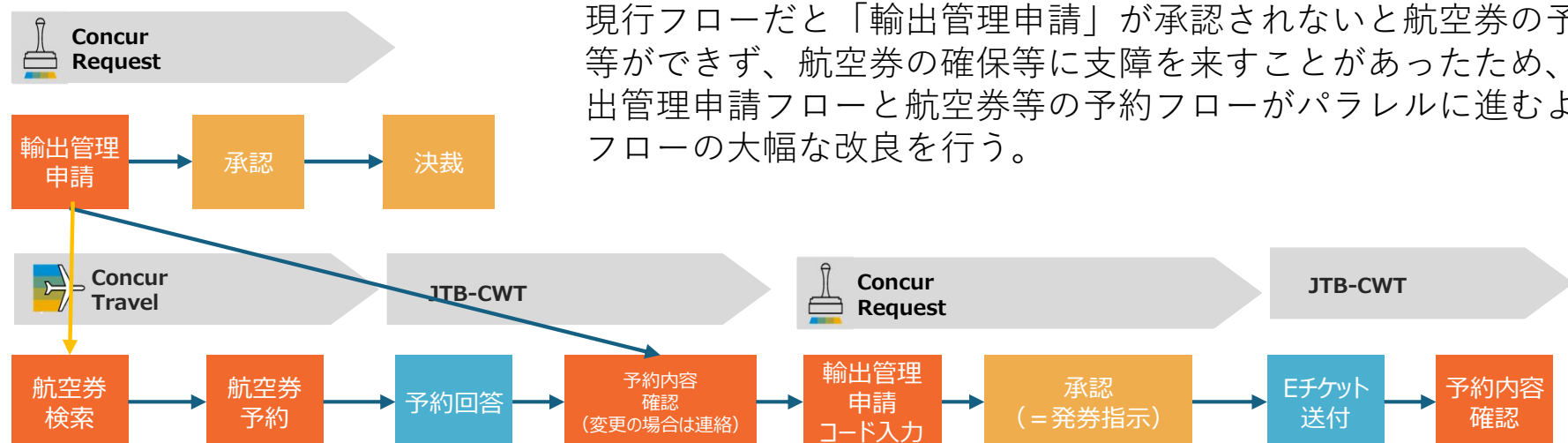
外国出張申請手配フロー

出張者 承認者 JTB-CWT

【改良前】（現行フロー）



【改良後】

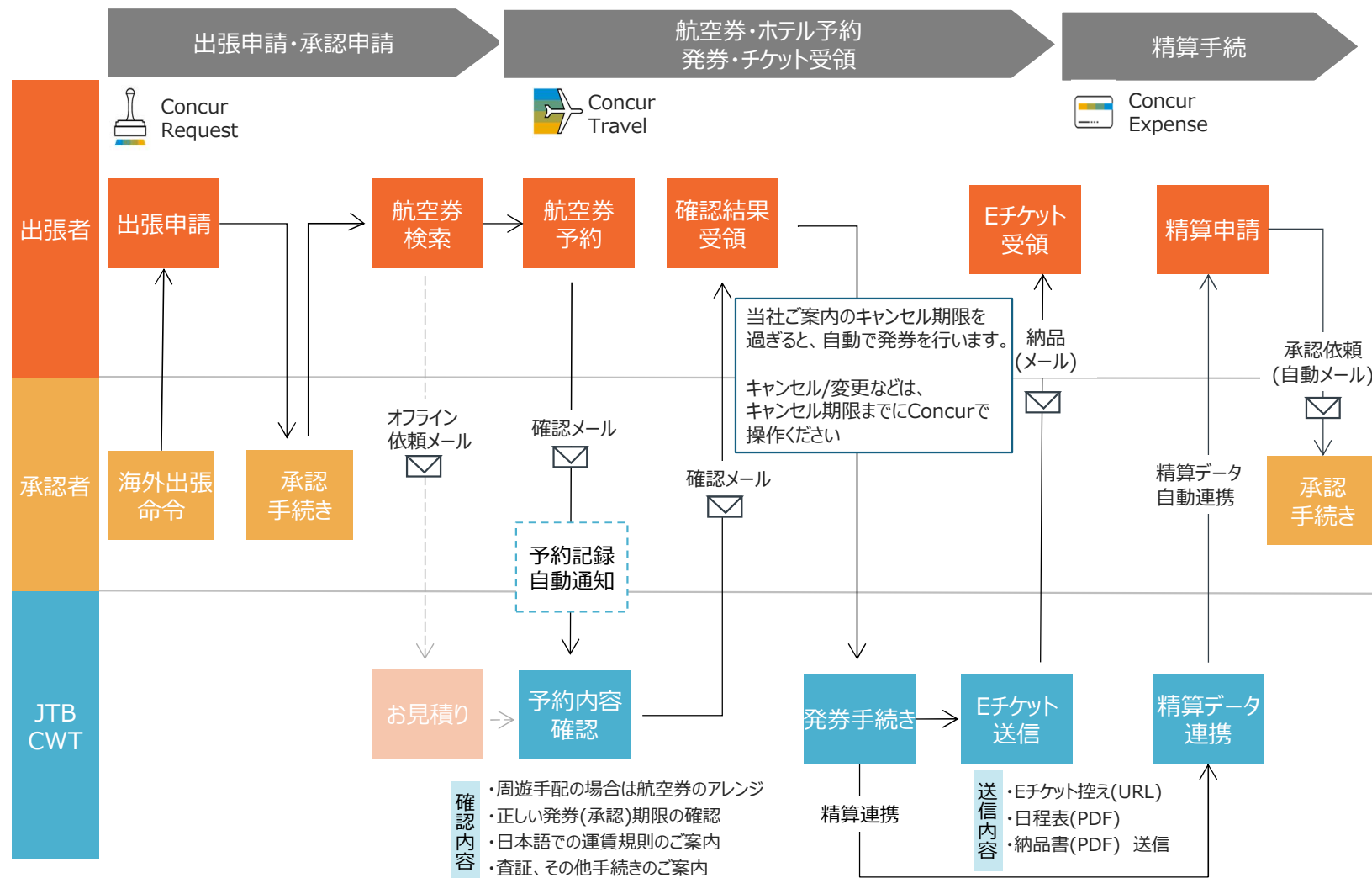


現行フローだと「輸出管理申請」が承認されないと航空券の予約等ができず、航空券の確保等に支障を来すことがあったため、輸出管理申請フローと航空券等の予約フローが平行に進むようフローの大幅な改良を行う。

フローの修正に際しては、既存旅費管理システム(Concur)が稼働中のため、既存環境を複製した新たな環境を構築し、その環境に変更後フローを構築し直すこと。

また、本番リリースにあたっては、稼働している旅費管理システムの停止(ダウンタイム)が最小限となるよう考慮し、事前に機構と日時等を綿密に調整したうえで実施することとする。

【改良前】Concur予約手配運用方法 | ①Request → Travel（現行フロー）



承認期限（＝発券期限）となりますので、そこまでにConcurRequest上で承認が必要です。

